



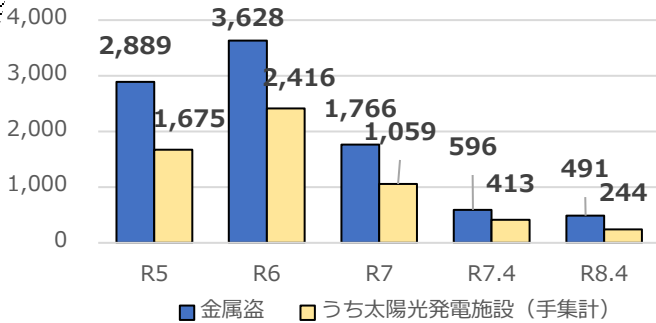
県警HP



防犯アプリ

金属類を対象とした窃盗事件の発生状況

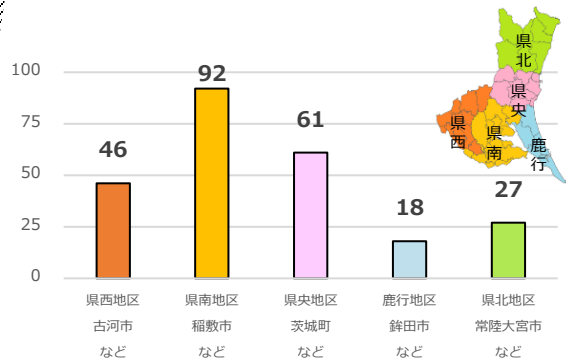
1 金属盗の発生件数（暫定値）



茨城県は、金属盗の発生件数が **全国 2 位**
 発生件数は、昨年同時期 **約 18% 減**
 太陽光発電施設での被害が **約 50%**

太陽光発電施設関係の発生状況

2 令和8年4月末の地域別の発生件数（暫定値）



県南地区で約 4 割
 小規模太陽光発電施設での発生が多い

金属盗等の現状と対策



今ある銅線ケーブルを盗まれないために…

太陽光発電施設の銅線ケーブルの盗難対策として、アルミケーブルへの交換が効果的ですが、今ある銅線ケーブルを盗まれない対策として、地中に埋める方法があります。

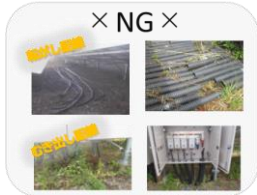
しかし、地中に埋めたからといって安心はできません。掘り返されて、銅線を引き抜かれ盗難被害に遭う場合もあります。そこで有効なのが、配管に特殊な溶剤等を注入し、銅線ケーブルを「固定」することです。

掘り返されてケーブルを切られたとしても、配管内で固定され引き抜くことができず盗めません。また、その後の復旧工事費用が安く抑えることができるメリットもあります。

県内でも、この対策をしたことで、窃盗の被害を免れた例があります。



防犯対策をしたら掲示して知らせましょう



建設現場、倉庫も狙われています！

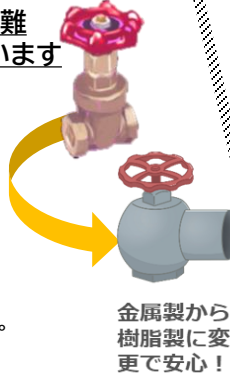
倉庫や建設現場等から銅線ケーブルや建築資機材が盗まれる被害が確認されています。

- ・施錠可能な場所は必ず鍵をかける
- ・夜間・遠隔監視可能な防犯カメラを設置
- ・工事日まで高価な資機材を持ち込まない
- ・外部から見えない場所で保管
- ・資機材は、「固定・連結」

などの複数の対策をしましょう。

バルブ・蛇口の盗難被害が発生しています

県央・県南地域を中心に、金属製バルブ・蛇口の盗難被害が発生しています。金属製から樹脂製への交換、使用時以外は取り外すなどの対策をお願いします。



金属製から樹脂製に変更で安心！

主な被害品とは

・銅線・銅管



・グレーチング

・敷鉄板



・真鍮製バルブ

・触媒
・橋などの銘板
・銅像 など

ケーブル露出部分が切断されやすいため、物理的に切られない対策をお願いします。

太陽光発電施設被害抑止対策



- ・フェンスセンサーやワイヤーセンサーの導入（異常時に通知を行うもの）
- ・機械警備の導入（ケーブル切断などの異常を感知し、通知を行うもの）
- ・警報装置の設置（音や光で犯人を威嚇し、周囲に異常を知らせるもの）
- ・引込柱や集電箱へのフェンスやカバーの設置（ケーブル切断対策）
- ・ケーブルが引き抜かれないための対策（埋没・ケーブル管内の固定など）
- ・防犯カメラ（AI・警報機能付き）などでの夜間監視体制の強化
- ・アルミケーブルの導入
- ・センサーライトなどの照明機器の設置

